

平成18年度 事業報告書

財団法人 オートレース振興協会

平成18年度事業報告書

本年度は、現在、業界一丸となって進めている「オートレースの構造改革」の取り組みを踏まえた事業の実施に努めるとともに、その進展に寄与した。

具体的には、オートレースの公正・安全確保に向けた調査研究、効率的・効果的な広報による販売等の促進、ファンの利便性向上のための情報システム開発及び施設整備・改修等による快適な環境作りへの助成等を重点に事業を実施した。

【事業内容】

1. 競走車振興事業

(1) 競走車等に関する調査研究事業

競走車と同部品に関する性能及び耐久性等の向上並びに競走車の安全性の確保を図るため、本年度においては、次の調査研究を実施し、オートレースの公正・安全確保に協力し、その円滑な運営に寄与した。

①競走車・同部品に関する調査研究事業

ア) 消音器の開発（試作品の製作と各種テスト等）

オートレースエンジン研究会（平成18年6月22日・9月14日開催）にて前回試作した消音器の各種テスト結果（消音効果は概ね良好であったが、実戦面、整備面、落車時の損害等から更なる改良開発が必要）を踏まえ、インナータイプ、フルエキゾーストタイプを含めて検討され、実用化に向けた開発目標仕様をもとにエンジンメーカーであるスズキ(株)に試作依頼することが決定された。それを受けて同社に消音器の試作委託（2台分）を行った。

試作された消音器の実車走行テスト、騒音測定（走行、静止）を実施したのち、エンジン出力データを含めてオートレースエンジン研究会（平成19年2月6日開催）へ報告を行った。その研究会において試作消音器の評価と今後の開発方針について検討され、耐久テストの実施、8台分の試作消音器を製作してレース形態による走行テスト、騒音測定（レース場周辺を含む）等を行うこととなった。

イ) シリンダの再利用に関する調査研究

選手の部品負担経費削減を図るため、前年度に引続き(社)全日本オートレース選手会の協力のもとシリンダの再利用に関して調査及び試験を実施した。その結果、専用大型治具を使用したホーニング加工ではなく、シリンダ内面のクロスハッチ付けのみであれば手作業により簡易に行うことができ、且つ十分再利用が可能であることが実証された。

この成果を実用化するために、日本小型自動車振興会にて競走車整備基準が改正されるとともに禁止事項、注意事項、使用工具等を記載した「シリンダクロスハッチ付け作業要領」が定められ、平成18年12月3日を前検日とする開催より使用が開始された。

なお、クロスハッチ付けを行ったシリンダ、また、同シリンダを組み付けたエンジンに使用されたピストン及びピストンリング等についてはクレーム対象外となった。

ウ) 競走車用エンジンオイル開発に関する調査協力

オートレース専用エンジンオイルの導入に関する諸々の調査協力（実車走行テスト、走路面拭取性確認試験等）を行い、その結果をオートレースエンジン研究会に報告した。専用オイルは平成18年12月より使用が開始された。（使用されていたエンジンオイルが平成18年6月末にて製造中止になることからオートレースエンジン研究会にて対策が検討され、オートレース専用オイルが開発されたものである。）

エ) 競走車用チェーンに関する調査協力

競走車用チェーンの新規採択に関する諸々の調査協力（耐久テスト、実車走行テスト等）を行った。各種テスト結果を踏まえ競走車試験委員会にて審議され、平成19年5月1日を前検日とする開催から使用することが決定された。

②その他(苦情処理)

競走車及び部品に係る苦情（選手他）を受け付けて、その内容を調査（目視検査等）し、その状況に応じてメーカーへ取り次ぎ、苦情処理に努めた。

苦情処理に当たっては、スズキ(株)及び各部品メーカー、選手会各支部、競走会の協力を得て行っているが、本年度に受け付けた件数は123件で、部品点数は241点であった。

なお、本年度中に処理を行った件数は112件で、部品点数は223点であった。（詳細は、別紙1）

（2）競走車の安定供給体制確保事業

本年度は、備蓄、割賦販売及びエンジン・同部品の供給等に関する事業を以下のように実施した。

①備蓄事業

競走車用部品は、その特性から特定のメーカーに一括発注しなければ生産の引き受け先もない部品が多数を占めている。そのため、当会が最小限の生産ロットを一括発注して在庫保管（備蓄）し、必要数量を選手会支部部品庫に納品して部品の安定供給を図っている事業で、本年度の備蓄部品の販売額は166,155千円、購入額は180,973千円であった。（詳細は、別紙2）

②割賦販売事業

選手がエンジン又はフレームを割賦販売での購入を希望する場合に、当会がその代金を業者に一括して

支払い、後日選手の地元出場手当等から当該小型自動車競走会を通じて代金を返済する事業で、本年度の割賦販売はエンジン1台のみでその額は850,500円であり、フレーム割賦販売の実績はなかった。

なお、割賦販売手数料については、選手の経済的負担減を図るため、当分の間0%とした。（覚書による手数料は3%）（詳細は、別紙3）

③エンジン・部品等の現金取次事業

ア) エンジン・同部品の取次事業

選手が、エンジンを現金払いにより購入する場合及び各レース場の部品庫からエンジン部品の注文取り次ぎ依頼があった場合に、当会が(株)スズキ二輪へ注文する事業で、本年度の取り次ぎ額はエンジン部品のみで、その額は298,183千円であった。（詳細は、別紙4）

イ) オイルフォークの整備に関する取次事業

オイルフォークの整備は、その精密な構造から選手が整備をすることが認められていないため、選手からの整備依頼を受け付けて業者へ取り次ぐ事業で、本年度の取り次ぎは11件で、その額は227千円であった。(詳細は、別紙5)

2. リース事業

オートレース運営の合理化、お客様サービスの向上に資するため最新のオートレース運営機器等を導入するときに、当会がその機器を施行者及び競走会等にリースする事業で、リース事業として、飯塚市よりナイター照明機器、東日本小型自動車競走会より浜松オートレース場の競走路清掃機(スーパー)についてそれぞれ申請があり、リース契約を行った。(詳細は、別紙6)

3. 施設整備・改修に関する助成事業

オートレース場施設の整備・改善を促進させるための助成事業を昨年度制定し、本年度は川口レース場(埼玉県川口市)、浜松レース場(静岡県浜松市)、飯塚レース場(福岡県飯塚市)及び伊勢崎レース場(群馬県伊勢崎市)へ各5千万円をそれぞれ助成し、これをもって6レース場全て完了とした。(詳細は、別紙7)

4. 小型自動車競技の振興に関する広報等事業

(1) スポーツ紙による広報

スポーツ紙に各オートレース場の開催告知広告の掲載を行い、また、SG・GI・GIIオートレースの記事広告(レース番組の紙面拡充及び出走表)の掲載を行った。(詳細は、別紙8)

(2) テレビスポットCMの放送

平成18年度に開催されたSGレースについて、テレビスポットCM放送を日本テレビ等で放送し、開催日程及び場間場外発売等の告知を行った。(詳細は、別紙9)

(3) インターネット広告等

映像コンテンツサイトであるYahoo!動画ページにオートレースのドキュメント番組(SGレース3本)やオートレース選手インタビュー番組(4本)その他初心者用オートレース紹介番組等(合計15本)を配信した。

(4) コマーシャルフィルム(CM)の制作

オートレースのイメージアップ及び認知度の向上を図るため、イメージキャラクターを起用したテレビCM用のコマーシャルフィルム2タイプを制作した。

なお、制作したコマーシャルフィルムは、「スポットCM」及び「オートレーステレビ実況中継」等のテレビ放送にオートレースCMとして活用した。

5. モーターサイクルスポーツの啓発普及事業

(1) 衛星放送によるオートレース実況中継

光ファイバーによる映像配信網を敷設し、衛星放送（スカイパーフェクTV2 16ch・240ch）でオートレースの実況中継放送を行った。（詳細は、別紙10）

(2) インターネットによる動画配信

全レースの実況中継をインターネットにより動画を配信した。また、ビデオ・オン・デマンドページを設け、終了したレース映像の配信も実施した。

(3) オートレースダイジェスト番組の放送

衛星放送(スカイパーフェクTV)を活用し、各レース場の実況中継を編集・制作し、オートレースダイジェスト番組（30分番組）の放送を216chで行った。放送日数は333日。

(4) 活性化事業

日本小型自動車振興会と連携し、グレードレースを中心に各オートレース場活性化のためにレース場内等で、事前告知や各種集客イベントを実施した。（詳細は、別紙11）

(5) 開催告知ポスターの制作

SG・GIプレミアムカップオートレース等の開催告知ポスター（全8タイプ・各450枚）を制作し、各レース場及びレース場周辺に掲示した。

(6) その他

補助事業に関する広報

オートレースの売上金の使途について、「社会福祉など広く社会に役立てられている」旨の補助事業に関するCM及びポスターを制作し、広報を行った。

6. 電話投票(inet 投票)会員募集事務に関する事業（請負事業）

電話投票(inet 投票)会員募集及び会員サービスの一部事務を東日本小型自動車競走会より請負い、事業を行った。

オートレース電話投票は平成3年9月にサービスを開始（inet投票は平成15年6月よりサービス開始）、平成18年4月からはイーバンク銀行での取扱いも開始しており、現在会員も46,669名（対前年6,458名増）となり順調に運営が行われている。（詳細は、別紙12）

7. オートレースに関する情報処理システムの研究開発事業

オートレース基幹システム再構築事業(第2フェーズ)として、パソコン及び携帯電話からのオッズ投票機能の追加、競技系の再構築に関するシステム開発を実施した。

8. その他

(1) 品川N T T データビル電話投票センターの清算業務

オートレースの情報処理に関する基幹システムの再構築に伴い、センター業務は新規委託先の日本トーター(株)新豊洲システムセンターへ移転された。それにより廃止された品川N T T データビル電話投票センターの清算業務(現状復旧工事、不用品の廃棄等)を行った。

(2) 研究施設の廃止等

(財)機械振興協会技術研究所内の研究施設の廃止に伴う清算業務(現状復旧工事、設備類等の移転、不要物件の処分等)と、施設内の備蓄部品庫をオートレース振興協会事務所ビル地下へ移設した。

「別紙 1」 苦情処理

① 部品名別苦情受付状況表（全国合計）

順 位	苦 情 部 品 名	数 量
1	ロッカーアームComp	45
2	インテークカムシャフト	29
3	エキゾーストカムシャフト	18
4	クランクシャフトComp	15
5	クランクケースセット	13
6	EX.フィッティング フランジ ホール L25	10
7	センターハウジング I 型	9
8	コンロッド Assy	8
9	No.1 オイルポンプ ローターセット	7
10	エキゾーストバルブ -R	6
11	シリンダー Comp	5
11	シリンダー スタットホルトL193	5
13	ピストン	4
13	インテークバルブ	4
13	No.1 オイルポンプカバー	4
13	アウトターハウジングアセンブリ I 型	4
	その他 17 位以下	55
合 計		241

②レース場別部品名別苦情受付状況表

船橋オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	ロッカーアームComp	27
2	インテークカムシャフト	21
3	エキゾーストカムシャフト	9
4	センターハウジング I 型	7
5	クランクシャフト Comp	4
5	インテークバルブ	4
5	コンロッド Assy	4
8	クランクシャフト アッパーベアリング 茶	3
	その他 9 位以下	16
	合計	95

浜松オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	クランクシャフト Comp	1
1	メインシャフト I 型	1
1	アウトターハウジング アセンブリ I 型	1
1	センターハウジング I 型	1
1	クランクピンのベアリング 黒	1
1	コンロッドボルト	1
1	ミッションアセンブリ I 型	1
	合計	7

伊勢崎オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	ロッカーアームComp	8
2	シリンダー スタッド ボルト L193	5
3	エキゾーストカムシャフト	4
4	シリンダー Comp	3
5	コンロッド Assy	2
5	クランクケースセット	2
5	アウトターハウジング アセンブリ I 型	2
5	クランクピンのベアリング 黒	2
5	インテーク カムシャフト	2
5	No.1 オイルポンプカバー	2
	その他 1 1 位以下	12
	合計	44

川口オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	EX. フィッティング フランジ ボルト L25	10
2	ロッカーアームComp	6
3	クランクケースセット	4
4	エキゾーストカムシャフト	3
4	No.1 オイルポンプ ローターセット	3
6	クランクシャフト Comp	2
6	ロッカーアームシャフト	2
6	シリンダーヘッド Assy	2
6	コンロッド Assy	2
6	マグネット Assy	2
	その他 1 1 位以下	15
	合計	51

飯塚オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	クランクシャフト Comp	6
2	スパークプラグ CR10EK	2
2	エキゾーストパイプ -R	2
2	ピストン	2
2	ピストンリングセット	2
	その他 6 位以下	7
	合計	21

山陽オートレース場		
順位	苦情部品名	数量
1	クランクケースセット	6
2	インテーク カムシャフト	5
3	ロッカーアーム Comp	4
4	No.1 オイルポンプ ローターセット	2
	その他 5 位以下	6
	合計	23

「別紙２」 備蓄事業

①備蓄部品購入額

単位：円

購 入 先	金 額	品 目
中央ダンロップ(株)	130,471,110	タイヤ
(株)エフ・シー・シー	29,541,530	ミッション、クラッチ
岡田商事(株)	2,696,400	補機（プラグ）
(株)コシダテック	2,940,000	イグニションコイル
宝和工業(株)	1,839,600	アンダーガード
(株)山誠	665,091	オイルタンクステー
(株)ショーワ	12,819,450	オイルフォーク
合 計	180,973,181	

②備蓄部品払出額

単位：円

販 売 先	金 額	(部 品)	(タイヤ)		(エンジン)	
船橋支部	28,543,148	6,171,848	3,180本	22,371,300	0台	0
埼玉支部	29,682,730	8,071,210	3,072本	21,611,520	0台	0
浜松支部	23,375,628	5,140,908	2,592本	18,234,720	0台	0
西日本支部	34,078,051	6,226,486	3,959本	27,851,565	0台	0
山陽支部	24,109,819	3,525,409	2,926本	20,584,410	0台	0
伊勢崎支部	25,299,530	5,481,935	2,817本	19,817,595	0台	0
業務ユニット	57,591	57,591	0本	0	0台	0
吉本フレーム	0	0	0本	0	0台	0
大野フレーム	116,382	116,382	0本	0	0台	0
大森フレーム	0	0	0本	0	0台	0
(株)エフ・シー・シー	9,870	9,870	0本	0	0台	0
(株)ショーワ	32,550	32,550	0本	0	0台	0
計	165,305,299	34,834,189	18,546本	130,471,110	0台	0
(月平均)		2,902,849	1,546本	10,872,593		
振興協会(割賦)	850,500				1台	850,500
振興協会(現金取次)	0				0台	0
合 計	166,155,799	34,834,189	18,546本	130,471,110	1台	850,500

- ・各支部部品払出額には、２級車専用部品を含む。
- ・振興協会（割賦）の１台は第８回生産エンジン。（単価は第９回生産と同じ）

「別紙３」 割賦販売額

単位：円

支 部	エンジン		フレーム		合計金額
船橋支部	0台	0	0台	0	0
埼玉支部	0台	0	0台	0	0
浜松支部	0台	0	0台	0	0
西日本支部	0台	0	0台	0	0
山陽支部	0台	0	0台	0	0
伊勢崎支部	1台	850,500	0台	0	850,500
合 計	1台	850,500	0台	0	850,500

※ 金額は手数料込みである

「別紙４」 A R 6 0 0型エンジン及び同部品取次供給額

単位：円

支 部	エンジン		エンジン部品	合 計
船橋支部	0台	0	46,497,044	46,497,044
埼玉支部	0台	0	55,053,719	55,053,719
浜松支部	0台	0	51,703,121	51,703,121
西日本支部	0台	0	53,368,074	53,368,074
山陽支部	0台	0	37,362,769	37,362,769
伊勢崎支部	0台	0	54,198,645	54,198,645
合 計	0台	0	298,183,372	298,183,372

「別紙５」 オイルフォーク整備取次額

単位：円

支 部	件 数	金 額
船橋支部	3件	88,200
埼玉支部	1件	21,000
浜松支部	0件	0
西日本支部	0件	0
山陽支部	4件	88,200
伊勢崎支部	3件	79,800
合 計	11件	277,200

「別紙６」 リース物件取得額

単位：円

リース先	物 件 名	金 額
飯塚市	ナイター照明機器	71,071,875
東日本小型自動車競走会 (浜松オートレース場)	競走路清掃機 (スノーパー)	4,536,000
合 計		75,607,875

「別紙７」 施設の整備・改修に関する助成事業

助 成 先	助 成 内 容	助成金額(円)	実施年度
千葉県 船橋市	施設改修作業（付帯設備経年劣化に伴う最優先部品交換工事等）	50,000,000	17年度
川口市	施設改修作業（審判室他のアスベスト撤去及びセンター発売所空調設備全面改修等）	50,000,000	18年度
浜松市	競走路舗装改修工事	50,000,000	18年度
飯塚市	施設改修作業（競走場内アスベスト撤去及びテント修繕等）	50,000,000	18年度
山陽小野田市	施設改修作業（管理地区フェンス改修工事及びビッドエアコン設置等）	5,000,000	17年度
	施設改修作業（メインスタンドアスベスト飛散防止対策工事等）	23,419,200	
	施設改修作業（建物劣化修繕工事及びマルチプロジェクト修繕工事等）	21,580,800	18年度
伊勢崎市	メインスタンド特別観覧席大型映像設備設置工事及び建屋出入口風除け設置工事等	50,000,000	18年度
		300,000,000	

「別紙８」 スポーツ紙による広報

新聞開催告知	
掲 載 紙	日刊スポーツ（東京・西部版）、スポーツニッポン（東京・西部版） サンケイスポーツ（東京版）、スポーツ報知
掲載回数	関東地区８４回、西日本地区３５回
掲載内容	各オートレース場の開催告知広告

新聞記事広告（レース番組の紙面拡充）	
掲 載 紙	日刊スポーツ・スポーツニッポン・サンケイスポーツ・ スポーツ報知（各東京版）
掲載回数	２３開催分
掲載内容	レースの予想・選手コメント等

新聞記事広告（レース番組の出走表）	
掲 載 紙	九州スポーツ・スポーツ報知（東京版）
掲載回数	４０開催分
掲載内容	レース番組の出走表（遠隔地場外発売実施時）

「別紙９」 テレビスポットＣＭの放送

告知レース名	本数	放送期間
① Ｓ Ｇ 第25回オールスターオートレース	49	H18. 4.23～27
② Ｓ Ｇ 第10回オートレースグランプリ	64	H18. 9.16～21
③ Ｓ Ｇ 第38回日本選手権オートレース	65	H18.10.28～11.3
④ スーパースターフェスタ 2006	65	H18.12.16～21
⑤ Ｓ Ｇ 第20回全日本選抜オートレース	65	H19. 3. 4～10
計	308	

※放送局は、日本テレビ、静岡放送、山口放送、ＴＶＱ九州。

「別紙10」 衛星放送によるオートレース実況中継

S Gオートレース等の衛星放送日数：延べ497日間（ナイター放送61日を含む）

グレード	レース名	放送日数
S Gレース	スーパースターフェスタ（川口）他	計 25日間
G Iレース	G I第12回平成チャンピオン（山陽）他	計 70日間
G IIレース	G II第28回さざんカップ（船橋）他	計 49日間
普通開催	日本トーター杯争奪戦（浜松）他	計 353日間

チャンネル別放送日数 216ch：351日間

240ch：146日間

「別紙11」 活性化事業

レース場	内 容
船 橋	オートレース漫画「スピードスター」を掲載しているヤングキング杯の実施や漫画雑誌内でのオートレース告知 他
川 口	ポケバイレース、ドリンクサービスの実施 他
伊 勢 崎	ナイター観戦バスツアー、折込チラシによるレース開催告知 他
浜 松	ラジオスポットCM及びお笑い芸人等イベントライブの実施 他
飯 塚	電話投票キャンペーン（チラシ・景品）の実施 他
山 陽	ナイター観戦バスツアー、ファン感謝祭イベントの実施 他
その他	全レース場において女性ライダーによるエキシビジョンレースを実施

「別紙12」 電話投票（inet投票）会員募集事務に関する事業

項 目	主な内容
会員募集に係る事務	会員募集関係印刷物の制作 会員募集関係書類の発送 電話投票ハンドブックの制作 i n e t 投票ハンドブックの制作
会員サービスに係る事務	会員への圧着ハガキによる開催告知案内の企画制作及び発送

オートレース電話投票会員数（平成19年3月31日現在）		
普通銀行会員	イーバンク銀行会員	合計
36, 173名	10, 496名	46, 669名

【総務事項】

1. 理事会開催状況

	開催日	議 題
第113回理事会	平成18年6月12日(月)	平成17年度事業報告(案)及び平成17年度収支決算(案)の承認について 平成18年度補助事業の実施の決議(案)について
第114回理事会	平成19年3月26日(月)	平成19年度事業計画(案)及び平成19年度収支予算(案)の承認について 平成19年度における運営改善準備金取り崩し(案)の承認について 評議員の選任について 職員給与規程の改正(案)の承認について

2. 評議員会開催状況

	開催日	議 題
第17回評議員会	平成18年6月12日(月)	平成17年度事業報告(案)及び平成17年度収支決算(案)の承認について 平成18年度補助事業の実施の決議(案)について
第18回評議員会	平成19年3月26日(月)	平成19年度事業計画(案)及び平成19年度収支予算(案)の承認について 平成19年度における運営改善準備金取り崩し(案)の承認について 役員の選任について

3. 役員名簿

平成19年3月31日現在

役職名	氏 名	関係役職名
理 事	阿部 忠壽 (常 勤)	財団法人オートレース振興協会 理事長
理 事	宇田川 則夫 (常 勤)	財団法人オートレース振興協会 常務理事
理 事	萩原 正之 (常 勤)	財団法人オートレース振興協会 理事
理 事	石川 洋一 (非常勤)	社団法人日本電気計測器工業会 専務理事
理 事	内田 利彦 (非常勤)	社団法人全日本オートレース選手会 会長
理 事	駒場 徳行 (非常勤)	東日本小型自動車競走会 会長
理 事	島田 豊彦 (非常勤)	日揮株式会社 執行役員
理 事	田中 勲 (非常勤)	社団法人日本自動車工業会 理事
理 事	堀内 雅夫 (非常勤)	財団法人機械システム振興協会 専務理事
理 事	武藤 恒雄 (非常勤)	社団法人日本自動車販売協会連合会 理事
理 事	米村 太刀夫 (非常勤)	日本自動車ジャーナリスト協会 会長
理 事	渡辺 和由 (非常勤)	全国小型自動車競走施行者協議会 事務局長
監 事	小野 榮一 (非常勤)	三菱化学株式会社 顧問
監 事	長藤 史郎 (非常勤)	株式会社荏原製作所 取締役専務執行役員

(50音順(非常勤))

4. 評議員名簿

平成19年3月31日現在

氏 名	関係役職名
伊藤 義徳	社団法人全日本オートレース選手会 常務理事
上野 滋	財団法人機械振興協会 理事兼技術研究所次長
角間 信義	日本化学工業品輸出組合 専務理事
川原 壯介	財団法人クリーンジャパンセンター 理事長
木村 準一	株式会社 日刊自動車新聞社 元相談役
佐藤 米治	財団法人日本自転車普及協会 常務理事
高橋 攻	財団法人車両情報センター 常務理事
鳥居原 正敏	独立行政法人原子力安全基盤機構 理事
中島 陽二	川口市経済部公営競技事務所 所長
中田 豊	神奈川大学 講師
丸山 英樹	労働安全コンサルタント
森住 祐治	社団法人リース事業協会 常務理事
山本 耕二	西日本小型自動車競走会 理事

(50音順)

5. 事務局名簿

平成19年3月31日現在

氏 名	役職名
宇田川 則夫 (常務理事)	事務局長兼総務ユニット長兼広報ユニット長
河村 秀定	総務ユニットチーム長
杉本 康江	総務ユニットチーム係長
小林 知子	総務ユニット係員
萩原 正之 (理 事)	業務ユニット長
八木 和弘	業務ユニットチーム長代理
飛鳥井 定利	業務ユニット係員
南條 泰紀	業務ユニット係員
橋野 隆太郎	広報ユニットチーム長代理
小林 謙之	広報ユニットチーム係長
寺田 一成	業務ユニット付 (東日本小型自動車競走会へ出向)
佐藤 君男	業務ユニット付 (東日本小型自動車競走会へ出向)
村山 健	業務ユニット付 (東日本小型自動車競走会へ出向)